

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県、根羽村	地域再生計画名	森と人が生き続けるネバビジョン地域再生計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	長野県根羽村役場 振興課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標		基準年度		年度	中間実績	基準年度						
	指標 1	森林整備作業員の増加	11人	R2	12人	R4	10人	14人	R6	×	指標 総数	達成 数	森林整備の魅力についてPRをしているが効果を得ることができなかった。インターネット、広報誌等で引き続きPRしていく。
	指標 2	森林整備の促進	4,000㎡	R2	4,400㎡	R4	5,573㎡	4,800㎡	R6	○	4	1	森林整備の効率的な展開により森林整備量の推進が図られ目標を達成した。
	指標 3	村内集客数及び交流人口の増加	10万人	R2	10万人	R4	7.6万人	11万人	R6	×			新型コロナウイルス感染症の影響により目標を大きく下回った。規制緩和もあり休止していたイベントも再開される見込みから改善がみられている。
指標 4	交流イベント回数	40回	R2	46回	R4	5回	50回	R6	×	新型コロナウイルス感染症の影響により目標を大きく下回った。規制緩和もあり休止していたイベントも再開される見込みから改善がみられている。			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (H・R)	最終実績 見込み								
	特別措置を適用して行う 事業	市道整備事業（整備延長）		0.28km	0km	0.28km	当初計画どおり整備を目指していくが、地権者との一部協議が進まず計画期間延長も視野に入れ進めていく。						
		林道整備事業（整備延長）		3.63km	1.94km	3.63km	当初計画に対し、R2からR4までの進捗率は約82%と遅れがある。今後については計画期間の延長も視野に入れ計画に則した整備を目指していく。						
	その他の事業	根羽スギの柱50本提供事業		森林整備の推進と併せて地域材利用住宅の建設促進を図る。			根羽スギを広くPRしていく事を目的としており、継続的に10件以上の物件へ提供を行っている。今後も引き続きPRをしていきたい。						
		森林の里親制度による企業と連携した森林づくり推進事業		一般企業との間で「森林の里親制度」を締結し、資金協力をいただき、森林整備を実施する。			企業との連携した森林づくりを積極的に行うひとつとして、社員の方と交流を実施する中で、森林の重要性や環境保全の大切さを体験等を通じて理解してもらえる様取り組んできた。引き続き環境保全の大切さを多くの方に理解してもらえるよう取り組みを強化していきたい。						
		矢作川上下流協働による地域づくり		下流域自治体や住民、企業、団体等幅広く協力いただき、森林整備等の環境保全への取り組み。			多くの方に当村の取り組みを知ってもらうため、下流域で主催されているイベント等への積極的に参加する事で、上流域の存在を広くアピールしていく。今後も交流人口の増に繋げていきたい。						
	計画外で独自に実施した 事業	大杉周辺整備事業		月瀬の大杉の周辺整備を実施			樹齢約1800年の大杉の周辺を整備する事により、観光客の増に繋がった。今後は裏山に遊歩道の整備を行い、さらなる観光客誘致を行う。						
③評価方法		地域再生協議会を12月に開催し、中間目標値の達成状況の評価や改善すべき事項の検討を行う。											
④中間評価の公表方法		根羽村役場の振興課のホームページに掲載											
⑤計画全体の総合評価		本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に行うことにより、安心・安全な道路網整備を目指してきた。これにより、住民生活の確保や林道付近での森林作業など一定の効果が得られたと考えている。今後、更に村全体の活性化を目指すために、下流域住民との積極的交流、企業・団体等に対して環境保全の大切さを伝え、協働で森林づくりに励む必要がある。 また村の良さを知ってもらい、森林整備に関心のある若者の移住定住者を増やしていく。											
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（○有・無）					計画上の道路整備を行うことで、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が若干遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業期間を1年延伸する。							
	令和6年度予算要望額への反映（○有・無） 有りの場合の増減額 試算中 千円												
⑦今後の方針等に対する 対応		●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定 村道については工事に伴う地権者との協議が一部進んでおらず事業年度延長の見直し。 林道については計画策定時より構造物の材料費等の高騰や、現場の湧水の発生などにより処理工法を検討する中で、事業量の増が見込まれる。											